

中3の英語 新研究のここが大切だよ！ ポイントシート①

新研究は、英文法の大切なことがコンパクトにまとめられています。この時間を有効活用して復習していきましょう。簡単にまとめているだけなので、詳しいことは新研究をよく熟読してください！

be 動詞について 新研究 P.6~

① be 動詞は「主語」によって使い分けなければいけませんが、下の表を確認しましょう。

主語 (～は)	現在形	過去形
I	am	was
I You 以外の単数 (he / she / it Daiki)	is	
You / We / they など	are	were

② be 動詞を使った文の作り方！ → ここでは「現在形」の説明ですが、過去形でも作り方は一緒！

A 肯定文

I am Saki. (わたしはサキです。)

主語 be 動詞

B 否定文

I am Saki.

主語 be 動詞

↓
not を be 動詞の後ろにおく

I am not Saki. (わたしはサキではありません)

主語 be 動詞

C 疑問文

You are Saki.

主語 be 動詞

↙
Be 動詞を主語の前に置く

Are you Saki? (あなたはサキですか)

□ 新研究の問題を解くときは、次のようにまずチェックして解きましょう。

「主語」(「～は」と書いてある) チェック → 文末をチェック！

文末が「～です」で書いてあれば、「現在形」

文末が「～でした」書いてあれば、「過去形」

1/10-31

一般動詞（現在形）について

新研究 P.10～

一般動詞は「be 動詞」(am / is / are / was / were) 以外のすべての動詞です。これも主語によって形を変えることがあります。下にまとめてみたので、確認してみてください。

三人称単数で現在形の一般動詞の語形変化

主語が三人称単数のときは、動詞に「-s」か「-es」をつける

三人称って何？

一人称	「私」のみ（「I」だけ）
二人称	「あなた」(You) 「私たち」(We) 複数形 「彼らは」(They)
三人称	上にあげた語句以外！ 例) 彼 (He)、彼女 (She)、それ (it)

単数って何？

- 「単数」とは…「1つ、1人」のこと。
- 「複数」とは…「2つ以上 / 2人以上」のこと。

例文

主語が「一人称」のとき

I live in Australia.

(オーストラリアに住んでいます。)

主語が「三人称」のとき

He lives in Australia.

(彼はオーストラリアに住んでいます。)



(主語) が (三人称で単数 (1人)) のときは、(一般動詞) に
(-s) や (-es) をつける。

新研究の問題を解くときは、主語を必ず確認して取り組みましょう！

三人称単数で現在形の一般動詞の語形変化の仕方

形の変え方は4種類です。下の表でまとめてみました。

 「-s」をつける	基本は語尾に「-s」をつけます。 語尾が「-e」で終わる動詞も「-e」をつけます。 「play」→「plays」 「use」→「uses」 「like」→「likes」 「practice」→「practices」
「-es」をつける	語尾が「-ch」や「-o」で終わる動詞は「-es」をつけます。 「teach」→「teaches」 「go」→「goes」
「-ies」をつける	語尾が「-y」で終わる動詞は「-y」を「i」に変えて「es」をつけます。 「study」→「studies」 注)「play」は違います。 →「y」の前が「母音<a,i,u,e,o>」の場合は「-y」は「i」に変えずに「-s」のみ、つけます。 「play」→「plays」
不規則に変化	「have」のみ、不規則に変化します 「have」→「has」

① 一般動詞を使った疑問文の作り方！ (主語が三人称の単数以外の主語の時)

肯定文

You play the piano.

疑問文

(Do) you (play) the piano?

答え

(Yes), I (do) / (No), I (do) not.

まとめ

① 一般動詞の疑問文の作り方

疑問文にするときには (do) を (主語) の前に置いて作る。

文末には (クエスチョンマーク(?)) を付けること。

答える時は、(Yes) や (No) を使って答えること。

② 一般動詞を使った**否定文**の作り方！ （主語が三人称の単数以外の主語の時）

肯定文

I play baseball.

否定文

I (do not) play baseball.



don't < do not の短縮形 >

まとめ

① 一般動詞の否定文の作り方

一般動詞の否定文にするとときは (一般動詞) の前に (do not) 置いて作る。

(do not) は (don't) と短縮形にすることもできる。

③ 一般動詞を使った**疑問文**の作り方！ （主語が三人称の単数の時）

肯定文のとき

He plays the guitar.

(彼はギターの演奏をします。)

疑問文のとき

(Does) he play the guitar?

(彼はギターの演奏をしますか)

答え方

Yes の場合

Yes, he (does).

No の場合

No, he (does) not.

まとめ

① 主語が三人称単数の疑問文は、主語の前に (Does) を置く。

② 動詞は (-s) や (-es) がつかないもとの形 (原形) に戻す。

③ 答えるときは (does) を使う。

④ 一般動詞を使った**否定文**の作り方！ （主語が**三人称単数**の時）

肯定文のとき

He plays the guitar.

（彼はギターの演奏をします。）

否定文のとき

He (does) not play the guitar.

（彼はギターの演奏をしません） → **必ず「原形」!**

まとめ

- ① 主語が三人称単数の否定文は、主語の後ろに（ **does not (doesn't)** ）を置く。
 ③ 動詞は（ **-s** ）や（ **-es** ）がつかないもとの形（ **原形** ）に戻す。

※ よく does のスペル dose と書く人が多いです。注意は下エ!

→ 「Does の三人」と覚えと間違えないでよ

一般動詞（過去形）について

新研究 P. 14~

一般動詞の過去形で大切なことは「不規則に変化」する動詞があることです。下の表で少しまとめました。確認してください。

一般動詞の語形過去形の語形変化の仕方

形の変え方は4種類です。下の表でまとめてみました。

「-ed」をつける ほとんどの動詞がこれ!	基本は語尾に「-ed」をつけます。 語尾が「-e」で終わる動詞も「-e」をつけます。 「play」→「 played 」 「visit」→「 visited 」
「-d」をつける	語尾が「e」で終わる動詞は「-d」をつけます。 「like」→「 liked 」 「use」→「 used 」 「practice」→「 practiced 」
「-ied」をつける	語尾が「-y」で終わる動詞は「-y」を「i」に変えて「d」をつけます。 「study」→「 studied 」 「try」→「 tried 」
語尾を重ねて「ed」	「stop」→「 stopped 」
不規則に変化	これは覚えましょう。新研究の P.15 の「不規則動詞の過去形」に一覧があります。まずはこれを覚えましょう。 「go」→「 went 」 「have」→「 had 」

stop は、まずは覚えよう。

〇 過去形の文は、Yesterday last year, last month
 <昨日> <去年> <先月>

last week last night など、過去を表す語句を文末に
 <先週> <昨夜>

よくexp.あります。この単語があれば、必ず過去形です!

5A231

① 一般動詞の過去形を使った疑問文の作り方！

肯定文

You played the piano.

「あなたはピアノを演奏したの？」 過去に起こったこと
→ 文末に「へした」のように、「I」などがある場合は

疑問文 (Did) you (play) the piano?

必ず(原形)にする 忘れない

答え (Yes), I (did) / (No), I (did) not.

まとめ

① 一般動詞の過去形の疑問文の作り方

疑問文にするときは (did) を (主語) の前に置いて作る。

文末には (クエスチョンマーク (?)) を付けること。

答える時は、(Yes) や (No) を使って答えること。

② 一般動詞の過去形を使った否定文の作り方！

肯定文

Daiki played baseball.

否定文

Daiki (did not) play baseball.

→ 原形にする
didn't

まとめ

① 一般動詞の過去形の否定文の作り方

一般動詞の過去形否定文にするときは (一般動詞) の前に (did not) 置いて作る。

(did not) は (didn't) と短縮形にすることもできる。

次回は、進行形、名詞 (a an the)、代名詞です。